

I SMS 基本方針

株式会社 情報システム工学（以下「当社」という）はここに示します基本方針に基づいて、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を確立、導入、運用、監視、レビュー、維持および改善を実施してまいります。当社は、流通、金融、製造を始め、数多くの、情報システムのコンサルティングから運用までのトータルソリューションを提供しています。これらの業務の中で、顧客情報（個人情報を含む）・顧客資産（ハードウェア・ソフトウェア）の保有、また顧客システムの開発業務において、情報の漏洩、改ざん、サービスの停止、事業および業務執行において潜在的なリスクを有しております。

このような環境の中で、顧客および当社の情報資産の機密性、完全性、可用性を確保するためISMS基本方針をここに定めます。

情報セキュリティは、当社の戦略的リスクマネジメントの重要な部分であり、このISMS基本方針を遵守し、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の維持と継続的改善に努めます。

1. 目的

当社が保有する情報資産は、電子データ、紙文書、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、ノウハウなど極めて大量かつ多岐に亘っていますが、特に顧客からお預かりした情報（個人情報を含む）、当社のシステム開発情報、運用、提供サービスに関する機密性、完全性、可用性を維持し、情報漏洩や紛失などの事件・事故を起こさないために、ISMSの構築、運用を通じて、セキュリティの維持、改善を行い、最重要事項である事業継続性を維持し継続的改善を進めます。

2. 法令および規程の遵守

当社は、事業上および規程上の要求事項の義務を果たすため、情報セキュリティに関連する不正競争防止法、不正アクセス禁止法、著作権法、知的財産基本法、個人情報保護法等の法令等およびISMS関連規則・基準並びに顧客との契約を確実に遵守します。

3. 推進体制と責任

当社は、情報セキュリティに関する役割と責任を定め、これを組織的に管理運用する体制を確立します。

ISMSの活動を主導する統括責任者として、「情報セキュリティ管理責任者」を任命し、「情報セキュリティ委員会」を設置して、ISMSの構築、運用、評価、フォロー、継続的な改善を進めていきます。またISMSの運用状況を監視するため「ISMS監査責任者」を任命し、定期的にISMS内部監査を行い、各種法令、情報セキュリティ基本方針、各種規程・手順などの遵守状況を確認し、問題があれば是正処置を促すとともに経営層に報告を行わせます。

4. リスクアセスメント

戦略的リスクマネジメントを行うため、リスクアセスメントの方法（リスク評価基準、リスクアセスメントの方法・手順など）を確立し、これに基づくリスクアセスメントの体系的なアプローチを定義し実行します。

リスク対応においては、情報資産毎に機密性、完全性、可用性に対する脅威および脆弱性を特定かつ定量化したリスクアセスメントを実施します。リスクアセスメントで顕在化した情報資産については、適切な管理策を適用し、リスク対応計画を策定し、実施します。なおリスクアセスメントは定期的、継続的に見直しを行います。

5. 教育と罰則

当社は、経営陣および社員等に対し定期的にISMS基本方針をはじめとするISMS文書等に基づいて、情報セキュリティの教育、訓練を実施します。また、それらに違反した場合における罰則の適用を周知徹底し、人的セキュリティの確保に努めます。

6. 継続的な改善および事業継続管理

当社は、事件・事故、情報処理システムの重大な故障または災害の影響による事業活動の中断に対処し、速やかに事業活動を再開するため、必要な事業継続計画を策定し、定期的に確認、維持および再評価します。

制定日：2008年7月7日

代表取締役社長

石橋重徳